



## 校長室の窓から

## 「批判的思考」

1月8日に、全校生徒に対して放送による校長講話を実施しました内容の一部を転載することで、私の思いを保護者の皆様にお伝えしたいと思います。

35年前、私が大学4年時の教育実習中に、担当の先生から次のような課題が出されました。「2つの三角形の三辺の長さがそれぞれ等しい三角形は合同である。このことを証明せよ。」という問題でした。三角形の合同条件のひとつで、君たちも高校入試前に勉強した内容だと思いますが、それまで当たり前だと思っていた合同条件を証明しなさいと言われたのです。それまで何の疑問もなしに、ただ定理の暗記だけをしていた自分に気づかされました。振り返って考えてみると、数学に限ってもきちんとした証明もなしに教科書に掲載されているものがいくつもあるようです。たとえば、円錐の体積は円柱の体積に3分の1をかけて求めますが、この証明は高校の積分の考えを使うにもかかわらず中学校の教科書に出てきています。球の体積や表面積も同じです。

京都大学の特別教授で、ノーベル生理学賞を受賞された本庶佑先生は、「ネイチャーやサイエンスという著名な科学雑誌でも、10年後にはその9割はうそになり、真実は1割しか残っていない。論文や教科書に書いてあることを信じない。自分の目で見て確信の持てるまでやる。自分の頭で考えて納得できるまでやるのがサイエンス」と言われています。

全米屈指のエリート名門校であるマサチューセッツ工科大学では、先端科学を学部学生には教えないそうです。なぜかという、先端技術であればあるほど5年以内に全部、陳腐化して、次の先端技術と入れ替わってしまうからだそうです。

その時代には正しいと言われていたことが実は間違いであったということがあるのです。例えば、私が中学校の頃には、部活動の練習中に水は飲むと言われていましたが、今では水は補給しないといけないと言われています。

クリティカルシンキングという言葉があります。これは「批判的思考」と呼ばれるものであり「その考えが本当に正しいか検証して本質を見極める」ことです。アメリカの教育界で広がったもので、子どもの学習を知識の詰め込みにするのではなく、客観的な判断や決断こそ本物の思考につながることを示唆しています。また、ここで言う「批判」は、必ずしも否定を意味しません。重要なのは「なぜ」「どうして」「本当なのか」といった疑問を忘れないことが大事なのです。今、私が話していることでさえも、そのまま鵜呑みにせず「校長はそんな考えをしているんだ、でも、この部分は自分はこう思う」といった視点を持つことが大事なのです。

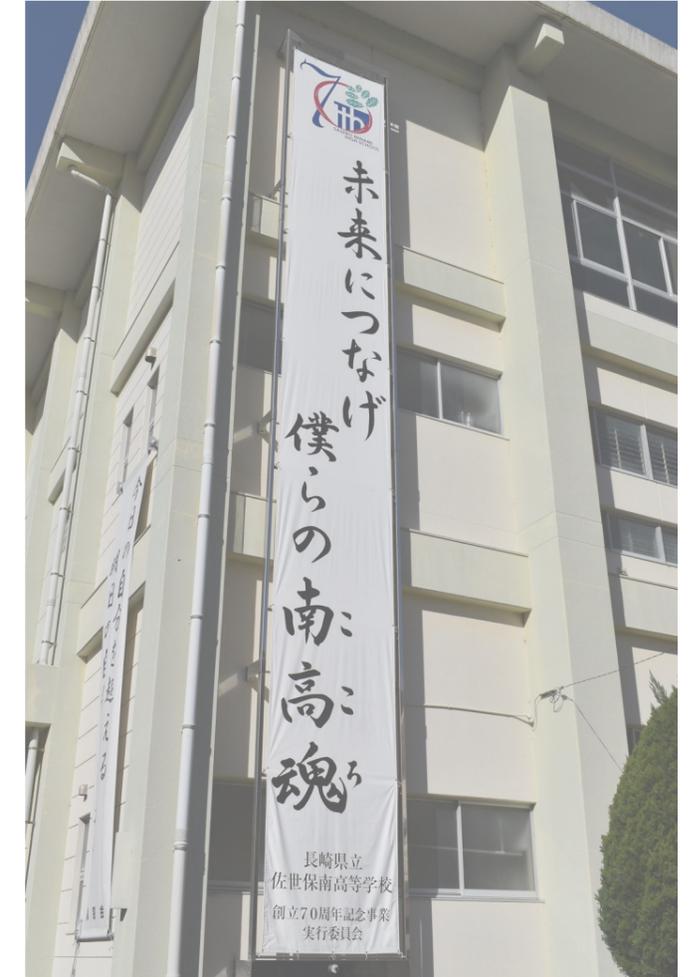
私が20代の頃、先輩の先生から「新聞を読むことは大事だと思う。でも、その記事を読んで『自分はどう思うか』と考えることがもっと大事なのだ。」と言われたことがあります。皆さんは、本を読んだり人の話を聞くことなどして、多くの知識を吸収し、日々成長しています。ただ、読書や人の話は、他人の考えた過程をたどったに過ぎません。大事なのは、それをスタートとして自分で考えることが大事だと思います。「自分はどう思う」「自分ならこう考える」というステップを大事にしましょう。



# 開校記念日に寄せて

## 未来につなげ 僕らの南高魂(こころ)

南高では創立以来、「新しいものを創りだし、皆で誇りある南高を築きあげていこう」という気風が脈々と受け継がれています。また、自ら努め励んで怠らず、放縦に流れ易い自己を自力で制御すること、すなわち「自己に厳しくあれ」という精神と、親しみの中にも敬い慎み、礼儀をわきまえ、自己の心身を正すこと、すなわち「相手に優しくあれ」という精神が本校の校風として根付いていきました。そして、創立34年目の昭和57年度に「自強自律」「和敬禮節」が校訓として制定され、爾来、この精神は本校すべての教育活動の底流となっています。ともすれば安易で利己的な自由を求めがちな昨今の風潮にあって、自律や敬愛の精神を保つのは難しいことです。しかし、その困難さに敢えて挑戦する姿勢を南高生には持ち続けてほしいと思います。



下村 脩博士が2008年にノーベル化学賞を受賞した際に本校に設置した記念碑。

櫻花の情熱的なる、桃花の艶情的なるに比すれば梅花は理知的である。身世匆忙として変転極まりない時代に處するは容易なことはない。人はその時代的特性に眼鏡の度を合わせる必要があるが、その目は飽くまで高きを望む客観的鮮明さを持たねばならぬ。足下の混乱に意志の自由を失い、複雑なる事態に批判力の不健康に陥ることは創造的生活と縁を絶つことに他ならぬ。常に省みてその放心を求め、思うて無限の真実に迫らねばならぬ。

梅は愛を内容とする知性に輝く花である。

(初代校長 照屋亀三先生  
『青雲』創刊号寄稿の抜粋)

# 令和3年度大学入学共通テスト

大学入学共通テストが1月16日(土)、17日(日)に実施され、本校生徒は、長崎国際大会場において受験しました。今年度は、共通テスト初年度であることに加え、新型コロナウイルス感染症対策など、様々な面でかつてないほど受験生の負担が大きくなりました。しかし、生徒たちはこういった厳しい状況にもめげることなく全力で試験に臨み、これまで培ってきたものを試験にぶつけてくれました。無事に共通テストを終えることができ、生徒はもちろん保護者の皆様におかれましても、ひとまず安心しておられるのではないのでしょうか。

これから生徒たちは自己採点の結果や業者が提供するデータなどを元に出願校を決めていきます。また、1月19日(火)からは、個別学力試験に向けた特別対策講座が始まりました。共通テストを終え、いよいよ最後の追い込みです。我々職員も生徒一人ひとりの進路実現に向けて最後まで支援していききたいと思います。

|             | 科目      | 時間                                     |
|-------------|---------|--|
| 一<br>日<br>目 | 地歴・公民   | 9:30~11:40 (2科目)<br>10:40~11:40 (1科目)  |
|             | 国語      | 13:00~14:20                            |
|             | 外国語(筆記) | 15:10~16:30                            |
|             | 外国語(リス) | 17:10~18:10                            |
| 二<br>日<br>目 | 理科①     | 9:30~10:30                             |
|             | 数学①     | 11:20~12:30                            |
|             | 数学②     | 13:50~14:50                            |
|             | 理科②     | 15:40~17:50 (2科目)<br>16:50~17:50 (1科目) |

## 「学業への取り組み方」

～3学年主任の東先生から～

元サッカー日本代表DFの岩政大樹さんのお話です。高校進学の際、サッカー部も県ベスト8に入り、県内屈指の進学校を選択し、自宅のある離島から片道1時間半かけて通われました。高校3年の入試直前の11月まで部活動に励みながら一般入試で東京学芸大学に合格されました。どのように学業に取り組まれたのでしょうか。

③ 計画が崩れてしまうこともあるので、普段できなかつたことを“移す日”を1日設定した。(岩政さんは、毎週金曜日)

大切なことは、自らの実力を見定めて、早めに目標を決めて、そこに向けて計画的に努力したこと。

岩政さんは、「スポーツと学業の両立って、できるかできないで語る人が多いですが、僕はそのレベルではないと思っています。高校生までは『やります』と決めれば、できるんです。要は、やるか、やらないか、なんです」と言われています。

「両立したほうが、人生はトクですよ」。

やるか、やらないか――。

さあ、皆さんはどちらを選びますか。

① 往復3時間かかる通学時間で予習復習。コツコツやっておくと、授業の入り方が全然違うわけです。予習をしないで授業に入ると難しくて全然分からなかったけど、内容は理解できなくてもいいので、授業の前に教科書に目を通しておく。そうすると、先生が授業で説明してくれるので理解しやすい。

② テスト勉強は2週間前に始まる。まずは計画表を作成する。2週間でやらないといけないことを洗い出し、そこからいつ何を勉強するか、はめ込んでいく。実は2週間あれば、1日にやらないといけないことはそんなに多くはない。

「THE ANSWER」1/21記事 一部引用

# 県総文祭 九州大会出場

令和2年12月11日(金)、諫早市美術・歴史館において開催された第4回全九州高等学校総合文化祭【書道部門】代替揮毫大会に長崎県代表として本校書道部2年の森山僚子さんが出場しました。

「8月に開催された県大会で選ばれた10名の県代表団の一人として熊本で開催される全九州大会に出場する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、熊本での全九州大会が中止となり、各県における分散開催という形での代替揮毫大会となりました。九州各県の代表者が一堂に会する席上揮毫大会に参加できなかったのは心残りですが、分散開催という形でも実施に向けて奔走して下さった書道専門部の先生方への感謝の思いを忘れず、今後も書道に邁進していきます。」



## 歳末たすけあい募金

令和2年12月21日(月)～23日(水)の3日間、「歳末たすけあい募金」を行いました。各クラスの会計委員が中心となって、クラスへの呼びかけや集まった募金の集計などを行い、多くの募金が集まりました。

集まったお金は長崎県共同募金会事務局へ寄付しました。このお金は、社会福祉施設の送迎車両の整備や地震・台風等の災害支援活動の助成などに使われます。

社会貢献の大切さは、自らが体験して初めて実感できるものです。今回の活動が、生徒の助け合いの心を育む一助となることと思います。

## 2月行事予定(予定)

- 2月 1日(月) 開校記念日
- 3日(水)～4日(木) 前期入学者選抜(生徒自宅学習)
- 6日(土) 個別学力試験対策模試(3年) 対外マーク模試(2年) Sプロ(1年)
- 7日(日) 対外マーク模試(2年) ハイレベル模試(1年)
- 10日(水) 常任委員長改選
- 13日(土) Sプロ(3年)
- 18日(木)～24日(水) 学年末考査(1・2年)
- 21日(日) 第3回英検2次
- 22日(月) 国公立大前期受験者集会
- 25日(木) 国公立大学前期入試
- 26日(金) 式場設営 大掃除
- 28日(日) 卒業式予行 同窓会入会式

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため急に変更になる場合がございます。

